

8月15日

2022. 8. 15

まだ学級担任をしたり、国語の授業を担当したりしていたときに、生徒に話していたことがある。日本人として、8月6日と9日、そして8月15日は忘れてはいけない。これに、震災以降は3月11日も加わった。

この4日間の日付が意味するところは、繰り返してはならない、二度と起こしてはならないということだろう。心に刻む必要があるということである。忘れてはいけないのである。

中学生にとっては、8月の3日間は経験していないことである。3月11日は経験しているが、まだ幼かったため、理解はできていなかったであろう。つまり、後になってから様々なことを知り、理解し、考えることになったのである。

私自身も、3月11日のことは身をもって体験しているが、8月の3日間のことは、直接はわからない。学校で学習した内容も、非常にあっさりとしたものだった。大人になってから、少しずつ知識を増やしていき、自分なりに考えるようになった。

もっと知りたい、知らなければならないと思うようになったのは、10年ほど前からである。使命感にかられるようになった。自分の国のことをあまりにも知らなさすぎる。焦燥感のようなものが自分を襲ってきた。

様々な人たちが、それぞれの立場から、自分の意見や考えを発信している。正直、どれが正しいのかわからなくなる。情報というのは、そういうものだろう。一つの事象でも見る角度によって違ってくる。情報はどんどん吸収する。取捨選択もする。大切なことは、情報を鵜呑みにするのではなく、自分で判断することである。自分というものさしを持つことである。

8月6日、9日、15日に関しては、自分なりに整理しておきたい。簡単に手軽に「平和」などという言葉を使いたくない。事の経緯を知った上で使いたいのである。それが日本人としての義務のように思える。

世界的には、9月11日も重要な日である。あのとき、私はイタリアのローマに住んでいた。翌朝の新聞の一面からは「KAMIKAZE」の大きなタイトルが目飛び込んできた。あの衝撃は忘れられない。起きた出来事もショックだったが、新聞の見出しもショックだった。もう何十年も経過している。それでも未だにこうなのかと考えさせられた。

そのうち世界中のどこかで原子力発電所の事故が起きるかもしれない。そのとき、新聞の見出しには「FUKUSHIMA」の文字が躍るのだろうか。あながちあり得ない話でもない。それだけのことが起きたのである。それが事実である。

今年も8月15日を迎えた。静かに考える日である。そして、二度と起こしてはいけないという決意を新たにする日である。